

第11回スポーツクライミング大会東京選手権大会
参加者注意事項 および JMCSA スポーツクライミング競技規則適用変更

※本文書は大会要項の内容を補足するものです。必ず大会要項と合わせてご確認ください。

参加者注意事項

健康管理のお願い

- 健康状態の自己管理をお願いします。
- 次の症状及び状況がある場合、入場を禁止します。
 - 発熱(37.5度以上)、体調不良(発熱・咳・咽頭痛などが続いている)

会場へのアクセス

- 施設案内ページをご覧ください。
- <https://www.city.katsushika.lg.jp/institution/1000098/1023476.html>
- 大会会場に隣接する駐車場は、大会関係者だけでなく他の公園利用者も使用しますので数に限りがあります。なるべく公共交通機関のご利用をお願い致します。

持参物

1. 下足入れ用の袋
2. その他、競技に必要な用具
※リード競技に使用するロープは主催者にて用意します。

公式掲示板

- 競技順、公式成績等を掲示する公式掲示板は、インターネット上に設置します。
- 公式掲示板 ⇒ <https://www.sport-climbing.tokyo/results/>

競技について

※詳細は競技規則適用変更一覧による。

1) ボルダール種目

- 予選はコンテスト方式にて競技を行い、ボルダール数は6とする。アテンプトは各ボルダール最大5アテンプトとする。なお、ボルダール番号は難易度の順に、最も低いものを1とし、最も高いものを6とする。
- 決勝のボルダール数は3とする。
- 決勝進出選手は予選上位各6名とする。

2) リード種目

- 予選、決勝共にオンサイト方式で各1ルートとする。
- 決勝進出選手は、予選上位各6名とする。

3) 共通

- アイソレーション・ゾーンには、スマートフォン、携帯電話、ノートパソコン、タブレット以外にも、外部からの情報の受信もしくは外部への情報の送信が可能なWi-FiおよびBluetooth機能が搭載された電子機器(スマートウォッチ、ヘッドホン、イヤホン等)を持ち込むことはできません。
- 競技後、成績を必ず確認し、疑義がある場合は速やかに申し出てください。

その他

1. ゴミは各自で持ち帰ってください。
2. 会場内の電源は使用しないでください。

3. 競技日程は変更になる場合があります。
4. 盗難・紛失及び駐車場などでの事故に関しては、一切の責任を負いません。
5. 大会中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。

競技規則適用変更

本大会はJMSCAスポーツクライミング競技規則(2025年3月13日版)に下記の変更を加えて実施する。

該当条項	変更内容および注意
第30条	(変更) リード競技会は、次のラウンドで構成される。 <u>(1) 各カテゴリーにつき1本のルートによるデモンストレーションを行わずに実施する予選および決勝</u>
第34条第1項	予選は各カテゴリーにつき1つのスターティング・グループで実施する。
第34条第2項 第34条第3項	※適用せず
第35条	(変更) 決勝の定員は <u>6名</u> とする。
第36条	(変更) 予選の競技順は <u>無作為</u> とする。
第38条	(変更) <u>予選および決勝ともアイソレーション状態で運営する。</u> そのラウンドのスタート・リストに記載された時刻までに、アイソレーション・ゾーンに出頭しなければならない。その時刻までに出席しなかった、またはアイソレーション・ゾーンにいない選手はそのラウンドに出場できない。
第39条	※適用せず
第43条	※予選はアイソレーション状態で運営されるため適用せず
第57条	予選における各選手の順位は、競技規則における準決勝での決定方法に準じて決定する。
第59条	競技会の最終成績は、次の各号の順に決定する。 (1) 決勝順位を有する選手を、当該決勝順位の昇順に順位付ける。 (2) 予選順位を有する選手を、当該予選順位の昇順に順位付ける。
第65条第2項	当該抗議のうち、予選に関する抗議は当該選手の暫定成績の表示後ただちに申し立てるものとする。
第67条第1項	ボルダー競技会は、下記に定める内容で構成される。 (1) カテゴリーごとに6ボルダーで構成される1つのコースで実施する予選。なお、ボルダー番号は難易度の順に、最も低いものを1とし、最も高いものを6とする。 (2) 各カテゴリーにつき3ボルダーで実施する決勝
第70条第1項	予選は各カテゴリーにつき1つのスターティング・グループで実施する。
第70条第2項 第70条第3項	※適用せず
第71条	決勝の定員は <u>6名</u> とする
第72条	※適用せず
第74条	決勝ラウンドは、アイソレーション状態で運営する。 選手は、そのラウンドのスターティング・リストに記載された時刻までに、アイソレーション・ゾーンに出頭しなければならない。その時刻までに出席しなかった、またはアイソレーション・ゾーンにいない選手はそのラウンドに出場できない。
第75条	※適用せず

第76条	※予選においては適用せず								
第77条第1項	選手は自分が属するカテゴリーに割り当てられた6つのボルダーのうち、自分が希望する順に各ボルダーでアテンプトを行うことができる。ボルダーでのアテンプト前に、当該ボルダーを担当する審判員にスコアカードを提出し、スコアカードの提出順にアテンプトを行うものとする。ただし、審判員による呼出の際にアテンプトを行う準備が完了していない場合は、当該選手はその時点で当該ボルダーでのアテンプトを希望するすべての選手のアテンプトが終了した後に、アテンプトを行うか、別のボルダーでアテンプトを行うものとする。								
第77条第2項～第4項	※適用せず								
第78条第2項～第4項	決勝は各カテゴリー1名ずつ競技を実施する。全ての選手が1ボルダーの競技を終了後、次のボルダーの競技を開始する。								
第80条第1項	予選におけるローテーション・ピリオド（競技時間）は、次の表のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="392 645 970 842"> <thead> <tr> <th>参加選手数（四捨五入）</th> <th>競技時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>40分</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>45分</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>50分</td> </tr> </tbody> </table>	参加選手数（四捨五入）	競技時間	20	40分	30	45分	40	50分
参加選手数（四捨五入）	競技時間								
20	40分								
30	45分								
40	50分								
第81条	選手は、決勝における当該ボルダーの最大競技時間内では、アテンプト回数の制限を受けることはないものとする。予選は各ボルダーにつき5アテンプトまでとするが、同一のボルダーで連続してアテンプトを行う必要はない。								
第95条	予選において選手が当該ボルダーでの追加アテンプトを行うことが認められる抗議は、当該選手の属するカテゴリーの競技時間終了前までに申し立てなければならない。								